



P1 ゾーニングシリーズ

- 使用時に製品が倒れるなど事故の原因になりますので、下に示す各条件を必ずお守りください。制限範囲を超えたレイアウトに関して事故などが生じた場合は、保証対象外となります。
- 移転や移設、部品交換時の施工は、販売店にご依頼ください。

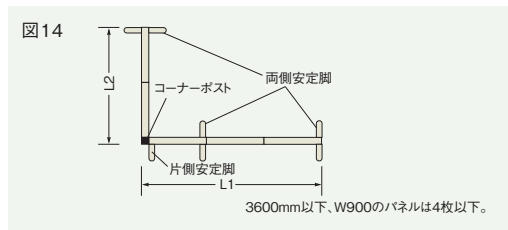
■基本レイアウト

<クロスパネル・シェルフ・ホワイトボード・コートハンガー>

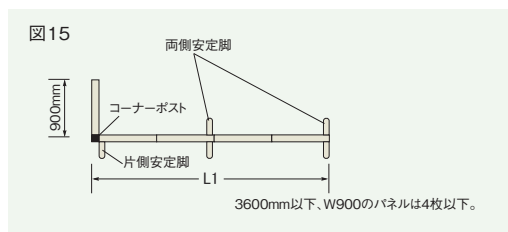
- 自立が可能なL字型を基本にレイアウトしてください。単品では自立しません。(図13参照)
- 直線レイアウトはできません。



- 直線連結の長さは3600mm以下にしてください。
- 短い方(=L2)はW900からレイアウトできます。(図14参照)



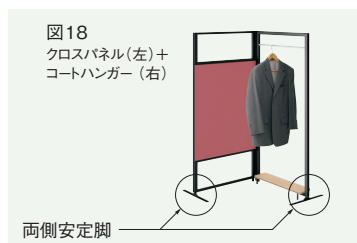
- 2枚以上直線連結されたパネル端部には両側安定脚が必要です。またコーナー外側には、片側安定脚を取り付けてください。
- パネル2枚につき1個の両側安定脚を取り付けてください。(図15参照)



- シェルフ、ホワイトボード、コートハンガーは必ずL字型でお使いください。これらを使用する場合は、ホワイトボード側、シェルフ本体側に両側安定脚を必須で取り付けてください。(図16、17参照)

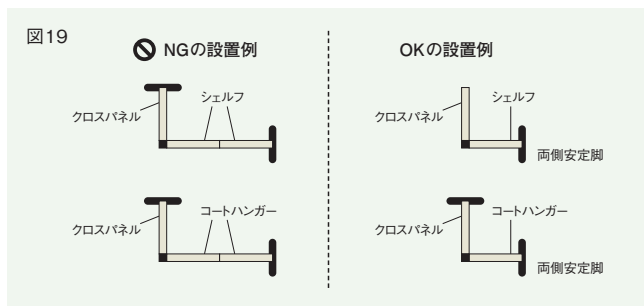


- コートハンガーを設置の場合、パネルの末端、コートハンガーの末端の両方に両側安定脚を取り付けてください。(図18参照)

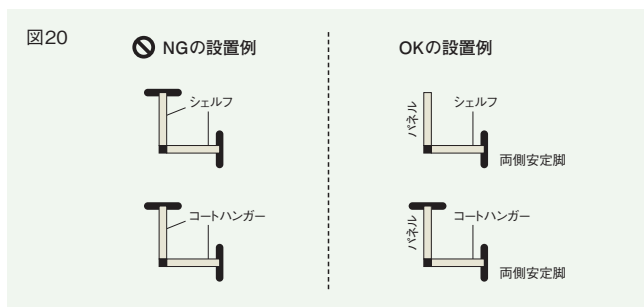


<シェルフ・ホワイトボード・コートハンガー>

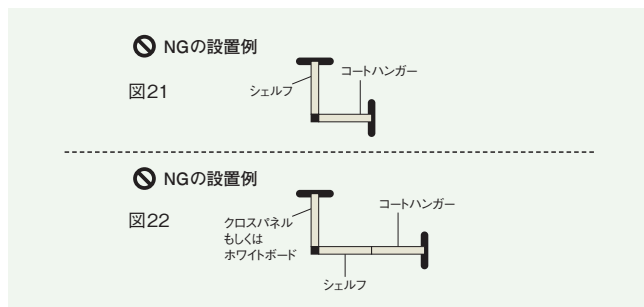
- シェルフ・ホワイトボード・コートハンガーをご使用の際は、必ず両側安定脚を使用してください。(図16、17、18参照)
- シェルフ、コートハンガーを2台連続で連結しないでください。本体の安定性が悪くなります。(図19参照)



- シェルフ同士でのL字レイアウト、コートハンガー同士のL字レイアウトで使わないでください。本体が倒れやすくなります。(図20参照)



- シェルフとコートハンガーのL字連結はできません。本体が倒れやすくなります。(図21参照)
- シェルフとコートハンガーの直線連結はできません。本体の安定性が悪くなります。(図22参照)



- シェルフとホワイトボードのL字連結、直線連結で使用しないでください。本体が倒れやすくなります。(図23参照)

